

厚小だより

平成28年11月30日 発行

地域とともに

校長 秦 直 人

厚岸小学校に着任して、1ヶ月半が過ぎました。毎朝の挨拶運動に参加させてもらい、一人一人の子ども達と元気いっぱいの挨拶、そしてハイタッチを交わすことで、子ども達との距離も少しずつ縮まってきた感があります。

そのような中、先日、2日間にわたってPTA文化厚生部の事業として「登校指導」があり、学校前の横断歩道を含め6カ所で指導をしていただきました。小雨や寒風のなか、指導いただき本当にありがとうございました。あわせて、地域の交通指導員の方々がそれぞれの場所で、定期的に交通安全指導に当たってくださっている様子を知ることができました。重ねて、お礼申し上げます。

つい先日、東北地方で地震に伴う津波警報が発令され、肝を冷やしたばかりですが、次代を担う子ども達を自然災害や交通事故などから守っていくことは、学校・家庭・地域の責務です。今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

11月は高学年の子ども達を中心に、地域の方々や外部講師の方々にお世話になるという機会が多かったです。まずは11月6日、「こう福祉21」で6年生がパネルディスカッションを行いました。発表に至るまで、地域の福祉施設の見学、聞き取りをさせていただき、たいへんお世話になりました。当日、とつてもすばらしい発表ができました。また、14日は地域の人権擁護委員の方々を講師に「人権教室」、17日はスマホ・ケータイ会社の方を講師に「スマホ・ケータイ安全教室」、18日は町役場の方を講師に「租税教室」が行われました。講師の方々が学習後、「発表する姿が立派だった」「学級の雰囲気がとても良かった」「しっかり挨拶ができていた」と私に感想を述べられ、とてもうれしく思いました。

11月27日、床潭小学校の「閉校式」に参加してきました。学校が地域から無くなる寂しさと4月からの厚岸小学校での新しい学校生活への期待をひしひしと感じて参りました。今後も床潭小学校との交流会などを重ね、新年度への準備をしていきたいと思っております。

12月、2学期のまとめの月となります。寒さが厳しい時季となりますが、生活リズムを整え、朝から「頭も体もスッキリ！」元気いっぱいで登校してこられるよう各家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

<12月の行事予定>

日	曜	おもな予定
1	木	CRT学力テスト(全学年 国語・算数) 高学年参観日
2	金	児童委員会 読み聞かせ
3	土	小学校管楽演奏発表会(金管バンド)
4	日	PTA主催厚小まつり
5	月	修了記念写真撮影開始
6	火	
7	水	ALT来校
8	木	学校評議員会
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	全校朝会 PTA三役会議
14	水	ALT来校
15	木	図書館バス
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	全校朝会
21	水	ALT来校
22	木	2学期終業式
23	金	祝日 天皇誕生日 冬季休業開始
24	土	
25	日	
26	月	冬休みパワーアップ学習
27	火	冬休みパワーアップ学習
28	水	冬休みパワーアップ学習
29	木	年末休業(学校閉鎖)
30	金	年末休業(学校閉鎖)
31	土	年末休業(学校閉鎖)

<学校の暖房事情について>

校舎新築から既に30年が経過し暖房施設の老朽化が進んでいます。電気暖房システムを利用していますが、経年劣化により思うように温度が上がらない状況となっています。

普段の授業を行う各教室は、21℃で設定しており優先的な運用をしています。

また、理科室や図書室等の特別教室も可能な限り21℃を保てますが、気温が上がるまでに時間がかかります。

廊下、コモンスペースは15℃です。

体育館は、16℃以上に上がらない状況です。体育の授業を行う分においてはあまり困らないのですが、全校朝会等の際は「寒い」です。

暖房システムの改善は、町教育委員会に要望しているところですが、かなりの規模の工事になることが予想されます。

基本的に、冬の厚小は「寒い」ということをご承知おきいただき、お子さんの服装にご配慮いただきますようお願いいたします。

<冬季休業中の学校について ~12月23日(金)から1月16日(月)~>

この間、土日祝日と12月29日~1月3日までは学校閉鎖となります。1月は、4日(水)から開始となります。お問い合わせやご相談等がありましたら、8:00~16:30までの時間帯において対応させていただきます。

なお、冬休み等の長期休業中、教員は勤務日となっていますが、子どもたちが登校しないこの期間に休暇をとって、家族との時間や帰省、通院治療などに充てるが多くなりますのでご承知おき願います。

< 11月の写真館 >

勉強の11月！学びまくった厚小っ子



3年生 理科授業研究

『明かりをつけよう』の実験です。どのような時に豆電球の光がつくのか調べています。実際に確かめながら「規則性」を見つけ、説明することが求められます。



5年生 社会授業研究

一次産業の次は、『工業』です。「君たちが車をつくる会社の社長ならば、どこに工場を建てるか？」…様々な情報を整理しながら立地条件について考えました。



高学年 人権教室

人権擁護委員会の方を外部講師に招いて学習をしました。「1年間無人島で過ごすならば、大事にするべきことは何か？」をグループに分かれて検討している場面です。



1年生 外国語学習

ティム先生は、わざとに英語しかしゃべりません。ジェスチャーや表情から何を言っているのか想像します。ゲームも取り入れて楽しく英語を学びました。

子どもの困り感や親の不安に対応する『担任＆組織の力』

「うちの子ども、勉強はきちんとわかっているのでしょうか？」
「お友達と仲良くできているのでしょうか？」

子どもが学校に上がる時、多くの親は『期待』と共に『不安』を感じることでしょう。上記の言葉は、家庭訪問や参観日の個別懇談の際に担任がよく聞かされるものです。

- ・テストの点数が60点だった。
- ・ノートに書いてある字を見たら、何を書いているかわからなかった。
- ・他の子と比べたらどこか違う気がする。

とにかく、親の心配は尽きることが無いです。知り合いや「ママ友」間の交流、ネットを使っての検索で情報を集めて安心したり、逆に余計に不安になることもあるでしょう。

まずは、**担任に尋ねて**ください。担任は、とても多くの情報を持っています。1日6時間の授業を行う担任は、「おはよう」から始まって「さようなら」までの約7時間を子ども達と過ごしています。これを毎日繰り返していると、「学習」だけではなく「生活」や「趣味」や「家庭の様子」や「友達との人間関係」など様々なネタを知り得ます。（親には内緒のことまでわかる時もあります）

担任は、知り得たネタを総合的に判断して**個々の子ども達の指導・支援**にあたっています。

しかし、担任が、一人でクラス全員分の情報を把握し対処していくには限界があります。

給食後の休み時間、**Aさん**に休んでいた時の補習をしていると、体育館で遊んでいた**B君**が転んで鼻血を出していると子どもが知らせに来た。状況に対処するため体育館へ向かおうとした時に、大きな泣き声をあげて**C君**が教室に戻ってきた。外で遊んでいる時に**D君**に仲間外れにされたらしい…

このような時、学校は**組織で対応**します。**チーム厚小の力**で目の前の困難に対処します。

- Aさんの補習** → 担任外の教師が対応（少人数担当や教務担当は、ほぼ全児童の学習状況を把握しています。厚小の教職員は、『児童理解交流』を定期的に行うことで、担任外の児童についての情報共有をしています。）
- B君の鼻血** → 保健室の養護教諭が対応します。職員室にも応急セットを常備しているので対応できる教職員が迅速に処置を行います。（学校では「医療行為」はできません）
- C君およびD君への対応** → 担任または生徒指導担当が対応します。状況を的確に判断してその後の対処を行います。（「いじめ」の判断も重要。場合によっては、校長・教頭把握の上での対処をします。）

学校は、日々動いています。子ども達との関わりは、今後も続いていきます。厚小のより良い学校生活環境を高めていくために、今後とも保護者の皆様のご支援をお願い致します。